

## 天羽小学校区・環小学校区の地域住民の方への説明会での質疑

期日：令和6年7月26日（金） 場所：市民会館

出席者 小泉副市長 岡根教育長 中山教育部長 細谷学校教育課長 大畑主幹  
苅込指導主事 菰田指導主事 森田係長

保護者：22名

### 小泉副市長の挨拶

本日これより環小学校と天羽小学校の学校再配置についてご説明をさせていただきますと思います。学校再配置につきましては、私自身も子どもたちの将来を希望あふれるものとするため、一定規模の集団の中で活動することを通して、子どもたちに生きる力を育む教育環境を整備したいという教育委員会の強い思いを受け、私も同様の考えを持っております。

そのための交通手段とクリアしなければいけない課題もあることも承知はしておりますが、そういう条件整備につきましては、十分配慮いたしまして、考えていきたい、進めていきたいと、このように考えております。

この後、学校再配置につきましてご説明をさせていただきますが、地域の皆様のご意見、ご要望を十分お聞きしながら進めてまいりたいと、このように考えておりますので、学校再配置についてご理解をいただきたいと存じます。

### 富津市教育委員会岡根教育長の挨拶

教育委員会では、平成30年に学校の再配置計画を立てまして、天羽地区でありますと、金谷小学校、竹岡小学校、天神山小学校と湊小学校を再配置して、天羽小学校を令和2年の4月から進めております。また、中学校では天羽東中学校と天羽中学校を再配置しまして、天羽中学校として同じく令和2年4月から再配置ということで進めております。

これは、小学校では極めて人数が少ない学級が見られていて、2つの学年を1つにする複式学級というのが生じてしまっています。そのような中で、子どもたちが同学年、同世代の仲間と交流するということが極めて少なくなっており、今後の社会性を育てるために、できれば同じ世代の子どもたちが集まれるような学校を作っていこうということで、再配置を進めております。

今日は忌憚のないご意見をいただきながら、ぜひともご理解いただきたいということで参りました。どうぞよろしくお願ひします。

### 意見・質問・回答 等

※回答(A)については説明会当日のものに、その後確認した内容を加えてあります。

Q1：（保護者アンケートについて）

**保護者のアンケートの中で学校配置に対して反対の意見が16%は具体的にどういうことで反対の意見を述べられているのでしょうか。**

A1： 反対の内容として、「再配置をしなくても、児童数が少ないことにおいては、環小と天羽小が交流会を行っていけば良いのではないか」「通学がバスになるので、子どもの生活のリズムについての心配があるので反対」「少ない人数の方が、より落ち着いて学習できるのではないか」というようなご意見がありました。

Q2：（保護者アンケートへの回答について）

**その反対意見をあげていただきました。その保護者の反対意見に、教育委員会の方からどのような回答をされたのでしょうか。**

A2： 「交流会の良さもありますが、日常としてある程度の人数で学習を進めていければと思います。」

「バスについて、停留所の場所や乗車時刻の設定など、子どもたちへの負担ができるだけ小さくなるように」「子どもたちの負担ができるだけ小さくなる

ように、あまりにも朝早い時刻に設定しない、ということはさせていただきます。」

「1学級の人数が増えても、集中して学習に取り組めるようにしていきたいと思えます。」という回答をしました。

**Q3:** (保護者アンケートについて)

**保護者のアンケートの中で学校配置に対して反対の意見が、天羽小学校の方は1%でした。どのような考えの方なのでしょうか。**

A3: 1人の方が「どちらかといえば反対」というふうに天羽小学校の保護者のご回答の中でありました。ただ、その方は記述がありませんでしたので、どういった理由でというところは分かりません。

**Q4:** (交流会について)

**交流会をできるだけ多く開催していただいて、子どもたちが、友達が早くできるような、そういう環境を作ってほしいと思えます。**

A4: 交流会においては、保護者の方々からもたくさん出てきた意見です。環小学校、天羽小学校それぞれにお願いして、交流会を行っていただいておりますし、昨年度も行いましたし、今年度の1学期もマザー牧場に一緒に行きました。2学期以降も行っていただく予定です。

**Q5:** (学校再配置後の児童へのアンケートについて)

**天羽小学校を再配置した後、子どもの意見をアンケートとして聞いてないのでしょうか。子どもが、どういう考えをしてるかが大切だと思えます。子どもたちに意見を聞いた方がよかったですと思えます。**

A5: アンケートについては、子供たちに対して、行いませんでした。ただ、特に今後の再配置後においては、新しい環境での不安もあると思えますので、学校の職員が丁寧に聞き取って対応していかなければいけないと思えます。

**Q6:** (スクールバスについて)

**低学年と高学年のバスでの下校時刻が異なることへのバスは対応しているのでしょうか。また、兄弟姉妹がいて一緒に下校させたい場合、低学年の子どもに対して、学校で対応してもらえるのでしょうか。**

**バス通学になると、子どもたちの自由な時間が削られてしまうのではないかと思います。**

A6: 低学年が5時間で終わる日で、高学年は6時間で終わる日というのがありますので、その2つの便を出すというような対応をしております。

親御さんの方であえて低学年も高学年の子どもと一緒に帰してほしいという場合には、対応していきたいと思えます。現在スクールバスでの登下校を行っている環小学校の例ですが、低学年便と高学年の便があります。低学年で早く帰りたいという方は低学年便で帰れますけれども、兄弟姉妹で帰りたいという場合には高学年便という形で、後の便になります。その間、少し待つ時間がありますので、放課後学習教室や、放課後学習ルームの方に参加をしていただいて、時間を調整して一緒に帰る形をとっております。

天羽小学校このような形が取れるかどうかというところにつきましては、また天羽小学校と相談が必要だと思えます。また、他の学習教室の人数ですとか、それに対する子どもたちの応募の数と、それに対する教師の数というところがうまくマッチしていないとそういう形もできないかと思えますので、天羽小学校と相談しながら、考えていきたいと思えます。

今後も子どもたちがそういった遊び時間などのロスがないように、再配置後においても、下校時刻に合わせてバスの発車時刻を設定していきたいと思えます。

**Q7:** (経費について)

**再配置をした時のランニングコストは教職員の給与体系も含めてどのようになるのでしょうか。また、スクールバスに対する経費はどれくらいかかるのでしょうか。**

**A7:** 教員の給与等の人件費は県のもので教員は県費負担教職員ですので、市費からはありません。

1つの学校の年間の維持に、約1300万前後必要となっており、年数が経ちますと、建物自体を立て直さなければいけなくなります。これをおおよそ50年くらい使うというふうに考えて割っても、先ほどの1300万と足して、4100万くらい1つの学校を建てて維持していくにはかかるという計算をしております。

スクールバスについては5校分のスクールバスの経費が、9000万から1億ぐらにかかっています。ですから、概算にはなりますが、1校で考えると、2000万近くは必要だと考えられます。ただ、今回の場合のように、今までも環小学校区の中学生在が天羽中学校にスクールバスで通ってますし、環小学校区の子どもたちも環小学校まではバスで通ってる部分がありますので、それを延長して天羽小学校まで行くとなれば、スクールバスの経費については、ある程度おさえられる可能性があると思います。

**意見** きめ細やかにバスの運行をし、移住してくるような人がいても、支障がないようにしてほしいと思えます。

**Q8:** (人口推移について)

**今後の児童数の推移の予想から学校形態が成り立たなくなるのは何年後なのでしょう。この先はどのようになるのか、再配置についての未来構想をどの**

**A8:** **ように考えているのか、知りたいです。**

天羽地区全体を見ますと、これからの推移の中で、かなり児童数が少なくなる可能性はあります。しかしながら、天羽中学校の学区は、富津市の3分の2ぐらいの面積の広い学区になっています。交通機関の関係を色々考えたとしても、展望とすれば、この地区に小学校、中学校は1校ずつは必ず必要だと考えております。

現段階でのこの令和12年度まではこういう状況が見えるというのは、そのまま転入・転出が無い場合から考えています。

**意見** この2、3年間と天羽小学校を見てきましたけど、職員の先生方、本当によくやってくれております。バスも、とにかくもう子どもが授業終わるとすぐにバスが待ってるような状態で、本当に素晴らしいなと思えます。特に中学校は、教室から出てくるとすぐスクールバスに乗れる状態になっています。学校再配置を行った天羽小学校は、子どもたちに悪いような状態にはなっていないと思えます。

とにかく早くみんなと一緒にさせてあげて、なるべく友達を作ってもらって一緒に過ごせる事が、子どもたちのためには最高だと思えます。